

明るい社会への歯車

民生委員の序幕は
床屋が舞台



民生委員の父 林市蔵氏

た。役所へ行くと早速その身元をしらべさせた。その結果、親子六人の善良な一家であるが、主人が病氣のために生計の道が絶え、僅かの貯金も、家財、衣類までもが医療費に消えた。子供にも学校をひかせてこうした夕刊売をして、もはや医療費はおろか、家族の口を養うことさえむずかしい状態であることが分った。

報告書を見た林知事の眼は涙にぬれた。これが動機となつて大阪府に方面委員制度がしかれた。大正七年十月のことである。

この方面委員制度は、今日の民生委員制度の母胎ともいふべきもので、林知事が「民生委員の父」と呼ばれるわけである。この意味から今年同制度四十周年記念として、本県社協民生委員部会の計画により、林知事の胸像が行幸橋の畔に建てられ、十一月十九日（県社会福祉大会の前日）に除幕式が行われることになったのである。

新憲法にのつとめる

生活保護の精神

敗戦によつてわが国には戦災者、引揚者、復員者、難職者などをはじめ多数の生活困難者を生じた。そこで新に生活保護法と民生委員令がしかれ、従来の方面委員に代つて民生委員が生活保護の仕事に協力することになった。

- 1、国民生活に対する国家の責任
- 2、国民の権利における無差別等

生活保護法は

九才、四才の次三女を抱えたSさんは生活保護を受けながらも自立の志をすてず自ら働きつづけたため病氣になり、長女も結核で障害者となつたが、錦井委員の指導あつて病氣もよくなり、長男は郵政局、次女は看護婦とそれ々仕事を

3、国民の最低生活保障
という新憲法の精神によるもので、従来の恩恵的な社会事業という考え方から、民主主義の下における社会連帯の思想にかわつていくところに大きな特色がある。

又民生委員は人格識見が高く、社会の信望が厚く、豊富な生活体験をもち、地区の世話役として隣人愛の情に燃え、常に区域内の実情に通じて、保護を要するものを見出し、その相談に応じ、関係機関に連絡して保護の方法をとらせるようにするもので、まことに文字通りの社会奉仕者といえよう。

最近県内の民生委員によつて更生した実例の二三を略記してみよう。

男世帯で子供三人

指導・青北郡多良木町 村山委員

Tさんは昭和三十年肺浸潤のため佐世保から帰つて来たが男児三人を抱えて生活に窮し相談をもち込んだもの。村山委員は福祉事務所に申請して保護を与え、先ず病氣の治療を指導、全快とともに生業扶助一万二千円を借らせて屋台店を開かせた。Tさんも懸命に働いて今では親子四人がむつまじく暮らしている。

苦難十年の道

指導・本渡市 錦井委員

Sさんは昭和二十三年に夫に死なれた。当時十七才の長女、十三才の長男、

十一月廿日に熊本市で開かれる社会福祉大会でも、協議の焦点は民生委員の活動をどうして推進するかということに示はられている。

中でも民生委員活動の中心である世帯更生運動、低収入者の援護活動、地域福祉の推進などについて深くほり下げ、民生委員制度四十年の業績を反省して、今後の行き方を検討することになつてい

その議題をあげると、およそ民生委員のやつている仕事に分るので主なものを記すると、

- 1、世帯更生運動
- 2、生活保護法による世帯更生の指導
- 3、世帯更生資金と医療費の貸付
- 4、要援護世帯の授産、内職のあつせん
- 5、同じく生活指導
- 6、青少年の保護育成
- 7、地域社会の福祉増進
- 8、老人、身体障害者、母子家庭の福祉増進
- 9、売春防止法の実施推進

何でもやりこなせ

県外就職する新卒業の人々へ一言

★.....
京阪神の県出身業界代表と
知事との懇談会から

すでに始つた新学校卒業生の県外就職は、金融引締め等の影響もあつて、楽観できない情勢にあるが、県ではいま求人開拓に全力を挙げている。

去る十月十一日にも、知事自ら大阪に出向いて、京阪神地区における本県出身の業界有力者約三〇名を招いて懇談会を開き、学校卒業生の就職について協力をお願いした。

出席の人々は、熊谷住友信託銀行社長（在大阪府県人会長・熊本市出身）守屋磨瑛夫氏（在兵庫県県人会長・八代郡出身）をはじめ、会社工場病院等の社長、取締役、工場長、人事課長等有力者ばかり。

すべて本県出身者であるので、学卒者への飾らない卒直な意見が述べられ、就職についての協力を約束されるなど、新学校卒業生の将来への明るい希望もたれた。

桜井知事のあいさつ

本県は産業構造からみて、年々増加する学校卒業生を、自県のみで完全就職させる事は困難であるので、大商工業地帯にある京阪神地方に例年多数の就職者

を送つていくような状況であります。

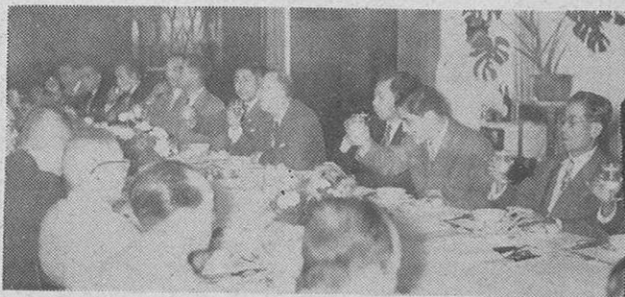
今年も約七千人の学校卒業生予定者が県外就職を希望していますが、今年の五月以来政府の金融引締め政策等により、雇用減少の兆しがみられますので、これら多数の県外就職希望者を希望どおりにあつていただけるかどうか心配しています。

どうか本県出身の皆様方の特別の御助力によつて、一人でも多く就職できますようお願いします。

熊谷県人会長のあいさつ

知事さんがわざわざお出になつて、県外就職促進についての懇談会を開いて頂きましたが、学校卒業生の就職については県人として大いに御協力申上げなければならぬと考えています。今後一層努力いたすつもりです。

A社長 私の会社はこれまで主として熊本県から、学校卒業生や一般人を採用してはいますが、どうも「三日坊主」で困ります。自分の仕事に対する真剣さに乏しいうらみがあります。中小企業に就職する人は、一応何でもやる心構えがほしいと思います。この点については、学校や職業安定所が、中小企



懇談する桜井知事（右から4人目）と伴民生労働部次長（5人目）一大阪にて

業の実態、作業条件の認識徹底、働く者の心構えといったものも職業指導の一つとして強化する必要がありますね。

K社長 高校を卒業すると、いわゆるホワイト・カラーの仕事を目指す者が多いが、そんな甘い考え方で来られては困ります。ことに中小企業になりますと、荷造りから配達、事務その他「何でも屋」の気がほしいですね。雇用主も将来の事は考えていますよ。何でも知つておくこと、どんな仕事でも一応こなせるということが、将来必要になつてくることを考えてもらいたい。

M社長 大企業で高校卒業生を工員として採用するのは、組合幹部等になつてストを起す公算が大きいからですよ。やっぱり高校卒だという意識

が強い。この考え方を是正して、仕事を熱心にやれば道は自ら開けてくるのですが、どうも仕事よりも不平不満の方が先だつて困ります。工員の質、能率の向上の点から云えば、高校卒の方が良いのですが.....

F課長 言葉は標準語が話せるように、在学中から十分指導しておいて貰いたい。本人もその事を考えて、標準語が話せるように心掛けていくべきですね。熊本弁がはつきりかたり、言葉が判らないため、唾みたりにモノ云わぬ人がでてくる、本人はむしろ周囲の仕事の能率にも影響してきます。

F課長 言葉の指導と同様、礼儀作法、客の応待、電話の掛け方等についても在学中から或程度指導しておく必要がありませぬ。もちろん採用後会社でもそういった事は致しますけれど.....

H常務取締役 就職後の補導も大切な問題ですね。私も熊本の熊本物産館にお願して求人依頼をする場合もあるし、問題発生した場合も大阪物産館に色々御相談している次第です。そういう面でも、県は就職後の補導についても熱を入れてやつて頂いているので感謝しています。

S課長 熊本の現状としては、県外への就職を促進せざるを得ないでしょうが、球磨川の電源開発等により電力が安く供給できるようなれば、工場も沢山誘致できると思います。この様な県内産業の発展による県内労働力の吸収が望ましいと思います。

各出席者の意見の結論として、熊本県出身者として、今後一層郷土青少年の就職面に協力してゆきたいと考えています。就職する人々にはしっかりと心構えをもつて、あくまで頑張り通す気持ちで来て貰いたい。